



高山駅自由通路展示物の製作



福祉サービス総合相談支援センターの開設



乗鞍山麓五色ヶ原の森生態系調査

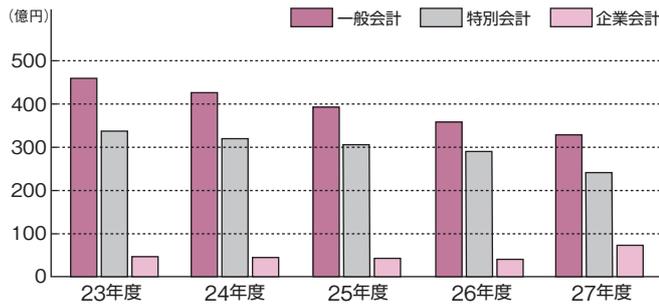


プレミアム付き商品券の発行

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業(事業勘定)	115億9,260万円	115億3,249万円	6,011万円
国民健康保険事業(直診勘定)	4億5,642万円	4億9,250万円	4,717万円
下水道事業	30億9,842万円	30億4,645万円	5,197万円
地方卸売市場事業	3,275万円	2,930万円	345万円
学校給食費	3億9,018万円	3億9,011万円	8万円
農業集落排水事業	6億8,407万円	6億4,050万円	8,002万円
介護保険事業	89億2,132万円	86億5,295万円	2億6,837万円
観光施設事業	1億1,667万円	8,808万円	2,859万円
後期高齢者医療事業	10億9,825万円	10億4,402万円	5,423万円
計	263億9,070万円	257億9,671万円	5億9,399万円

市債(借りたお金)の累積状況



	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
一般会計	455億1,250万円	422億8,657万円	388億6,809万円	354億5,259万円	324億9,176万円
特別会計	334億1,585万円	317億1,310万円	302億5,161万円	287億8,316万円	238億3,632万円
企業会計	45億903万円	43億5,347万円	41億9,744万円	40億2,979万円	72億276万円
計	834億3,738万円	783億5,314万円	733億1,713万円	682億6,555万円	635億3,084万円

●平成27年度より簡易水道事業を水道事業へ移行

市民一人あたりの市債残高(一般会計)

360,923円

平成26年度から28,931円減少しました

※数値は万円単位の表示であるため、端数処理(四捨五入)により計などが合わない場合があります。

基金の状況(一般会計・特別会計)

基金の名称	27年度末	26年度末	増減
財政調整基金	253億8,360万円	228億4,390万円	25億3,970万円
職員退職手当基金	34億122万円	35億3,462万円	△1億3,340万円
庁舎整備基金	7億4,179万円	7億3,922万円	257万円
減債基金	56億2,380万円	55億9,961万円	2,419万円
夢まちづくり基金(旧まちづくり基金)	49億7,809万円	45億1,159万円	4億6,651万円
21世紀「夢」基金	※1	4億2,498万円	△4億2,498万円
飛騨高山ふるさと基金	5億2,296万円	7,617万円	4億4,679万円
国際交流基金	1億円	1億円	0
交通・火災災害基金	1億91万円	1億138万円	△48万円
高額療養費貸付基金	2,189万円	2,183万円	6万円
福祉健康基金	19億3,530万円	19億3,040万円	489万円
福祉金庫基金	2,856万円	2,855万円	1万円
高齢者等住宅改修資金貸付基金	3,056万円	3,047万円	9万円
災害基金	7,663万円	7,637万円	25万円
ごみ処理施設整備基金	26億2,548万円	23億2,078万円	3億470万円
農業後継者育成基金	2億75万円	2億75万円	0
ふるさと農村活性化基金	3,918万円	3,918万円	0
緑の基金	12億7,183万円	12億7,183万円	0
商工振興基金	7,147万円	7,123万円	23万円
観光振興基金	4億9,436万円	1億1,502万円	3億7,934万円
観光施設整備基金	※2	3億7,796万円	△3億7,796万円
交通安全施設整備基金	364万円	364万円	0
土地開発基金	9億3,941万円	9億8,175万円	△4,234万円
駐車場整備基金	4億1,401万円	3億9,907万円	1,494万円
市営住宅敷金基金	3,976万円	4,044万円	△68万円
消防設備基金	589万円	589万円	0
教育振興基金	3億5,743万円	3億5,544万円	199万円
市民文化会館整備基金	1,511万円	新設	1,511万円
市民文化会館土地取得金	※3	310万円	△310万円
文化財等公有振興基金	2億819万円	2億737万円	81万円
スポーツ振興基金	3,370万円	3,366万円	4万円
畜産振興基金	3,865万円	3,398万円	467万円
育英資金貸付基金	5億9,841万円	5億9,612万円	229万円
一般会計 計	503億257万円	470億7,632万円	32億2,625万円
国民健康保険財政調整基金	3億2,890万円	3億2,755万円	134万円
公設地方卸売市場整備基金	1億9,345万円	1億8,945万円	400万円
高額介護サービス費貸付基金	251万円	251万円	1万円
介護保険財政調整基金	5億434万円	5億248万円	185万円
特別会計 計	10億2,920万円	10億2,200万円	720万円

●各年度末現在高には、各年度における出納整理期間に積立および取崩を行った金額を含む

※1 21世紀「夢」基金は平成27年度に「夢まちづくり基金」に統合

※2 観光施設整備基金は平成27年度に「観光振興基金」に統合

※3 市民文化会館土地取得基金は平成27年度に「市民文化会館整備基金」に統合

●経常収支比率

財政構造の弾力性を表す指標で、人件費や扶助費、公債費といった必ず支払わなければならない固定経費が、市税や地方交付税などの使途を特定しない経常的な収入に対してどれだけ占められているかをみるものです。

率が低いほど臨時的な経費にお金が回せることになり、それが健全財政の上限で、それ以上になると財政が硬直化しているといわれます。

高山市は合併直後で85.7%になりましたが、平成27年度は77.6%となり、率を下げています。

●公債費負担比率

財政運営の硬直性を表す指標で、率が高いほど財政が硬直化していることを示します(20%を超えるると財政運営上の危険ラインであるとされます)。

高山市は合併直後で20.6%になりましたが、平成27年度は15.2%となり、率を下げています(借金返済に占める割合が減っています)。

問合先 財政課 ☎35-33132